

南部片富士湖だより

No. 128 平成29年1月26日 発行

北上川ダム統管理事務所 管理第二課

〒020-0123

盛岡市下厨川字四十四田1番地

TEL 019-643-7972

FAX 019-643-7976

第12回水源地子ども交流会 (冬の自然観察会と雪遊び)が開催されました



平成29年1月13日(金)に、国立岩手山青少年交流の家において、四十四田ダムビジョン推進会議主催による第12回水源地子ども交流会(冬の自然観察会と雪遊び)が開催され、四十四田ダム水源地域(盛岡市・滝沢市・八幡平市・岩手町)の小学生8名を含む計15名が参加しました。

開会式の後の学習では、水源地域に降った雪は解けたら北上川に流れていき、やがて四十四田ダムに流れていくことを地図を見ながら学び、子どもたちは皆で意見を出し合いながら楽しそうに聞いていました。



水源地域について学習



アニマルトレッキング

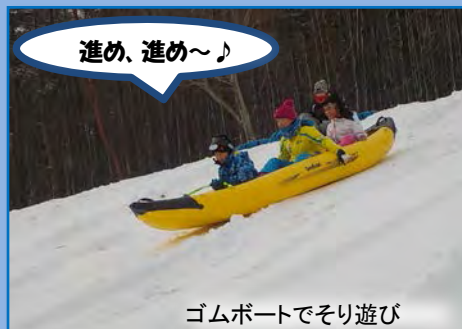


よーいどん!!

雪合戦をしたり走ったり元気いっぱい♪

次に、屋外に出てアニマルトレッキングを行い、雪についてのウサギの足跡を見つけると、どのように跳んでどの方向に行ったのかを皆で話し合いました。

また、子どもたちは自然観察の中で、柏の木が冬でも葉を落とさないことや、樹木についた雪を見れば風の方向がわかることなど、自然の中でつけた様々な不思議について学びました。その後も、雪で柏餅を作ったり、つらを手にとってみたいりと冬の遊びを楽しみました。



進め、進め~♪

ゴムボートでそり遊び



ふかふかの雪の中で...



みんなで記念撮影

昼食後のそり遊びでは、色々な種類のそりの中からどれがよく滑るか試してみたり、誰が遠くまで滑れるかを競い合ったりしていました。

閉会式で子どもたちは今日1日を振り返り、「動物の足跡を探したり、そりで滑ったりしたのが楽しかった」と感想を述べていました。



『障がい者のダムの役割学習&ダム見学会』 が開催されました



平成29年1月19日(木)に、四十四田ダムにおいて、「障がい者のダムの役割学習&ダム見学会」が開催され、矢巾町の障がい者相談支援事業所「百万石」から12名が参加しました。
この取組みは、障がいを持つ人たちが、四十四田ダムの見学を行い、ダムの役割などについて学ぶとともに、水辺の新たな魅力を発見することを目的として開催されました。



はじめに南部片富士湖ものしり館にあるセミナールームにて、四十四田ダムの管理の方法などについて説明を受け、洪水から下流を守っていることや、上流から流れてくるゴミの処理など、様々な役割があることを知りました。また、ダムの生物や環境についての説明があり、皆さん興味深く聞いていました。
操作室の見学では、さまざまな機器や気象情報の収集など、大雨や洪水に向けた体制などを学びました。

酉年ということで…
四十四田にいた鳥をご紹介します!

玄関にオブジェのようにじっといたのは…**鳩!**

つつーっ
すべる、すべる

南部片富士湖にたたずむ一羽の**白鳥**。凍ったダム湖を歩いていました。

松園子ども自然観察園からのお知らせ

今回の内容は「**みんなで雪遊びアイスcreamをつくろう**」です

- ★ 日時 2月5日(日)午前10時~11時30分
- ★ 集合場所 松園子ども自然観察園 ひがしの広場
- ★ 参加費 保険料等としてひとり50円

持ち物等、詳細については下記までお問合せ下さい
松園子ども自然観察園をきれいにする会 池田さん TEL 019-662-4080

おいしいアイスcream
がしてくれるかな?

四十四田ダムの水質 (12月10日採水)

- 水温 3.0℃ ● PH 7.6
 - COD 1.1mg/l ● ヒ素 なし
- (水質悪化の指標:3以上)
今回の調査でも異常はありませんでした

編集後記

以前から鹿の写真などを撮ってくださる「F氏」が今回も鳥の写真を撮影してくれました。「鳩がず〜っと同じところにいるよ」と言われて、慌ててカメラを手にかけるだけでも私が行くと何もいません…
今年こそは負けずに凄いものを撮影したいと思います。(内)